

**背景**

フレキシブルバリア材料の重要な特性は、繰り返しひずみに耐える能力であり、これは屈曲耐久性またはゲルボフレックス耐性として知られている。強い耐屈曲亀裂性は、流通中のパッケージの穿孔リスクを低下させ、パッケージの完全性を保護するために不可欠です。

申し込み

ゲルボフレックスとしても知られる屈曲耐久試験機は、フィルム、複合材料、コーティングフィルムなどの素材が繰り返しひずみに耐える能力を評価します。サンプル構造に発生する可能性のあるピンホールを検出することで、屈曲破壊を定量化します。優れた耐屈曲亀裂性は、流通中にパッケージングに穴が開くリスクを最小限に抑えるため、極めて重要です。パッケージが輸送中も無傷であることを保証します。これは中身の完全性を保つために非常に重要です。

規格

ASTM F392 「柔軟なバリア材料の曲げ耐久性」

サンプリングとモーション

フレックス試験機では、200×280mmの試料がマンドレルに固定される。屈曲プロセスには、ねじれと水平圧縮の組み合わせが含まれ、フィルムは繰り返し両方の作用を受ける。具体的には、ストロークの最初の90mmで440度のねじり運動を開始し、その後65mmの直線的な水平運動を行う。全サイクルは毎分45サイクルの速度で行われる。

ユーザーは、あらかじめプログラムされた5つの試験条件から選択することができる。

モードA-フル・フレックス1時間 (2,700サイクル)、モードB-フル・フレックス20分 (900サイクル)、モードC-フル・フレックス6分 (270サイクル)、モードD-フル・フレックス20サイクル、モードE- 20サイクルの部分フレックス。

技術的特徴

このシステムは、直感的なHMIタッチスクリーンインターフェースを備えたPLC制御を特徴としています。5つの標準テストモードがあり、3つのテストステーションを備えています。ユーザーは、ロング・ストロークとショート・ストロークのモードを素早く切り替えることができます。試験条件A、B、C、D、Eは選択可能です。

主なパラメーター

フレックス周波数	45 /分
フレックス・アングル	440° (90mm) または400° (80mm)
定員	3.5 N.m
水平ストローク	155mmまたは80mm
駅	3
サンプルサイズ	280 mm x 200 mm
パワー	110~220V

同様のモデル:

GFT-01 屈曲耐久性試験機 (4ステーションモデル)



GFT-01 4ステーションモデル